

特定機能病院 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター広報誌
「オーアイシーアイだより 2022年夏号」、Osaka International Cancer Institute
季刊、 ボリューム7 、2022 Summer

Contents

- 2 ページ、 胃がんセンター開設のご案内
- 3 ページ、 放射線腫瘍科と排尿ケアチームとの協働の成果が英文医学物理雑誌に掲載されました
- 4 ページ、上段、 世界の生物学・生化学分野のトップ研究者のひとりとして谷口なおゆき研究所長がランクされました
- 4 ページ、下段、 ペプチド受容体放射線核種療法 (PRRT) の開始！！
- 5 ページ、上段、 抗がん剤アイブイナース誕生秘話
- 5 ページ、下段、 がんストレスを緩和する外来の音楽環境
- 6 ページ、上段、 成人病公開講座 (オンライン配信) のお知らせ
- 6 ページ、下段、 スキンケア教室を開催しています！
- 7 ページ、上段、 「看護 五感から伝わるぬくもり」をスローガンとして看護の日のイベントを開催
- 7 ページ、下段、 **【連載】** はい、こちら「がん相談支援センター」です
- 8 ページ、 ご寄付について

2 ページ、

胃がんセンター開設のご案内

令和4年4月、胃がんセンターを開設しました。

胃がんの疫学

胃がんは古くから日本人に多く見られる疾患であり、治療に対してさまざまな取り組みがなされてきましたが、いまだに新たに診断されたがん患者は男性が第2位、女性が第5位（平成30年）、死亡数は男性が第2位、女性が第5位（令和元年）であり、依然として治療の難しいがんとして考えられております。

胃がん治療の進歩

その治療方法は、ガイドラインを始めとする標準的な治療（内視鏡治療、手術、化学療法、放射線治療など）をはじめ、国内外から得られるさまざまな研究の結果を集積し日々進歩してきました。特に、近年の胃がん治療の進歩はめざましく、早期胃がんにおいては内視鏡治療の適応拡大、手術においてはからだへの負担が少ないより安全なロボット胃がん手術、抗がん剤治療においては、免疫療法や分子標的やくなどの効果が認められ、治療の多様化によって、より専門的な知識が必要となります。

安心して治療を続けていただくために

また、最近ではリハビリテーションや栄養学てきなサポートの重要性も認知されるようになり、適切な支持療法（がんそのものに伴う症状や、治療による副作用・合併症・後遺症による症状を軽くするための予防、治療、およびケアのこと）は今やがん治療において不可欠と考えられています。専門化・多様化する治療をいかに患者さんに提案し理解していただき、受けていただくか。そして、病気だけではなく、患者さん一人ひとりの個性・社会的背景をいかに理解し、治療の継続につなげるか。そういった課題を解決するため、胃がんに関わる部門が一つになり、医師のみならず、多種多様なスタッフが一丸となって患者さん目線の治療を提案し、実施する体制を構築すべく胃がんセンターを開設いたしました。患者さんがどの入口に来られたとしても、最適な治療方法へ導き、安心して治療を続けていただくことができるよう連携を深めてまいります。

細やかなサポートと包括的な治療の推進

今回、胃がんセンターの開設にあたっては、消化器外科（胃外科）・消化管内科・腫瘍内科・放射線治療科といった治療担当科だけではなく、リハビリテーション科・栄養腫瘍科といった支持療法を具体的に実施する部門、看護部といったたしよくしゅの集合体となることで、細やかなサポートと包括的な治療を進めることを目的とします。さらに、ちけんや先進医療を含む臨床試験などを積極的に行い、次世代の治療の開発・発信に努めたいと考えてい

ます。た診療科のつながりを持ち情報を共有することで、より多くの患者さんに新たな治療を提供する可能性が生まれると考えています。

最後に

事前にご相談を希望される患者さんにつきましては、受診についての疑問などに対するサポートを目的として 個別の無料メール相談 に対応しております。詳細は当センターホームページ、(病院サイト) をご覧ください。

胃がんセンターホームページ、 <https://oici.jp/hospital/department/igancenter/>

3 ページ、

放射線腫瘍科と排尿ケアチームとの協働の成果が英文医学物理雑誌に掲載されました

英文医学物理雑誌 Ohira S, Komiyama R, Kanayama N, et al. Improvement in bladder volume reproducibility using A-mode portable ultrasound bladder scanner in moderate-hypofractionated volumetric modulated arc therapy for prostate cancer patients. J Appl Clin Med Phys. 2022 Apr;23(4):e13546. doi: 10.1002/acm2.13546. Epub 2022 Feb 2.

前立腺がんの放射線治療とその課題

放射線治療はからだへのしんしゅう（医療用語：生体を傷つけること）が少ない前立腺がん治療法として期待されています。ほとんどの患者さんは通院で治療を完遂し、仕事が終わってから治療を受けられるかたもおられます。からだに優しい治療法ではありますが、治療時の膀胱容量を一定にしなければ、予期しない場所に放射線が照射されたり、ターゲットの位置がずれたりする可能性があります。一般的に、膀胱容量の管理はいんすい量と蓄尿時間で行っていますが、日々の気候や体調によって膀胱容量は変化してしまいます。

研究内容

そこで、われわれはポータブル超音波膀胱容量測定器（リリアム大塚社製の小型プローブに備え付けた超音波測定素子によって膀胱内の尿量を測定する携帯型装置）を用いることによって、膀胱容量を一定に管理できないかと着目しました。放射線治療を専門とするわれわれにとって、不慣れた膀胱容量測定は簡単ではないため、泌尿器科や婦人科を主とする排尿ケアチーム主催の研修に参加し、リリアムによる膀胱容量測定のコツや注意点を、みなさまに丁寧にご指導いただきました。結果として、リリアムを使用した患者群では膀胱容量のばらつきを抑えることができました。前立腺がんの放射線治療をよりよくしたいという思いが診療科の枠組みを超えた、協働の成果だと思えます。近年のコロナかの状況において、一回当たりの線量を増加させ、照射回数を短くする強力な放射線治療が世界中で広く実施されつつあり、ますます膀胱容量の管理が重要となります。

今後について

本研究で培われた経験と技術は前立腺がんのみならず、婦人科がんなどの骨盤領域への放射線治療にも応用できると考えております。

今後も引き続き、当センターの医療に携わるスタッフと共に、放射線腫瘍科では質の高い医療の提供を目指してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

4 ページ、上段、

世界の生物がく・生化学分野のトップ研究者の一人としてたにぐち なおゆき研究所長がランクされました

研究所腫瘍増殖制御学部 ひがしやま ひでき

研究が優れたものかどうかを評価する方法の一つに、公表された論文が他の研究者にどの程度引用され、参考にされているかという世界的な指標があります。クラリベイト社は、例年この指標をもとに研究者を選び、表彰しています。機構本部理事長 とおやま まさや先生は、2011 ねんに神経科学の分野でその榮譽によくされています。

これらの指標は注目されている分野に比べて、研究者数が少ない分野では引用数が低い傾向にあり、同じ分野での比較が必要で、数値が低くても価値がないとは言えません。このたび、初めて生物学・生化学領域で、発表論文数や、1 つの論文が 100 回以上引用されている論文の総数（h-指標という）が評価の基準となり、世界のトップ研究者 1000 名が公表されました。わが国でも著名な研究者が名を連ねています。その中で、たにぐちなおゆき研究所長は、数少ないとうさの研究者の中でランクインされ、世界的評価を得ました。とうさの研究はがんの診断や経過観察、転移などに重要な領域です。

ランキング掲載ページ、

<https://research.com/scientists-rankings/biology-and-biochemistry>

4 ページ、下段、

ペプチド受容体放射線核種療法(PRRT)の開始！！

希少がんセンター たかだ りょうじ

神経内分泌腫瘍(NEN)に対する新しい治療法である PRRT が、当センターでもついにスタート！

PRRT は、治療やく（ルタテラ登録商標）を用いて放射線治療を行うアイソトープ治療であり一般的に専用治療病室で行われますが、PRRT は一般病室を法令に基づいた、特別な措置を講じた病室として設営することで治療ができるようになった初めての治療法です。

NEN 専門施設である当センターでは、院内たしょくしゅワーキンググループがいちがんとなって PRRT の導入に向けて取り組み、令和よねんさんがつさんじゅうにちから患者さんに届けることができるようになりました！

私たちは、NEN 患者さんへの最良の治療の提供に努めると同時に、放射線治療に関わるみなさまの安全を守る医療を行いたいと考えます。

神経内分泌腫瘍や PRRT に関するご相談は、

希少がんホットライン 電話番号 06 の 6945 の 1177 をご利用ください。

5 ページ、上段、

抗がん剤アイブイナース誕生秘話

内科・外科系外来部署教育担当 田中由紀、伊藤まどか、つかさき ともみ

内科・外科系外来では「進化・発展する外来」をスローガンに令和3年度はさまざまな改善を行いました。その中で患者さんからもっともご意見の多かった待ち時間の改善と業務効率化、看護師のスキルアップを目指して、抗がん剤アイブイナース（抗がん剤や放射線検査における薬剤に関する知識を十分に持つ看護師）の育成に取り組みました。それぞれのキャリアを生かし、持ちうる力を発揮できるように対象を常勤看護師だけでなく、40パーセントを占める非常勤看護師にも拡大しました。

部署教育担当者が年間計画ひょうを作成して働きかけた結果、抗がん剤アイブイナースは1年間で11めいから25めいに増えました。それに伴い、輸血開始までの待ち時間が25分から17分に、ポートフラッシュ（留置したCVポートの閉塞を防止するため、定期的に生理食塩水などを流して管理すること）終了までの待ち時間が25分から12分に短縮し、患者さんから大変喜ばれました。非常勤看護師からも「できることが増え自信につながった」という反応があり、患者さんの満足度・看護師の満足度が共に向上しました。これからも進化・発展する外来を目指して、部署教育担当としてサポートしていきます。

5 ページ、下段、

がんストレスを緩和する外来の音楽環境

『当センターを受診される患者さんやご家族のがんストレスを少しでも緩和したい』、『診察や検査の待ち時間を少しでもリラックスして過ごしていただきたい』そのような思いから、サービス企画推進部と患者サービス向上委員会が連携して、昨年秋より外来に音楽を流す試みを始めました。

選んだ音楽はミストミュージック（商標登録）です。ミストミュージック（商標登録）とは、音楽家のあえば こうぞうさんのオリジナル楽曲です。円柱状の特別なスピーカーを使用することで、森や湖などで録音してきた自然のおとと共に、広がりのある、空気より軽いミストのような音楽でからだじゅうがつつみ込まれるような感覚になります。約3カ月間の試聴期間とアンケートの結果、患者さん150めいの9割が音楽導入に賛成、8割以上がストレス緩和になるとご回答いただき、2022年3月、導入の運びとなりました。

現在、1階患者サロン、2階身体計測コーナー・外来化学療法室前・地下放射線腫瘍科の4カ所でミストミュージック（商標登録）が毎日流れています。正面玄関に入ったエントランスでは鳥のさえずりが聞こえます。「アートな病院」を目指す当センターにはさまざまな絵画も掲示されています。職員・患者さん共に、生きる力を支える病院でありますよう、今後も取り組んでいきます。

6 ページ、上段、

成人病公開講座（オンライン配信）のお知らせ

当センターでは、成人病公開講座をオンライン配信しております。

第 95 回「最新の大腸がん診断と治療」

第 94 回「がんの予防と検診」

第 93 回「がんと認知症」

第 92 回「希少がんと希少がんセンターの役割」

第 91 回「頭頸部がんと食道がん 最新の治療」

第 90 回「脂肪肝、肝炎、肝がんに対する治療の進歩」

以上の講座は、当センターのホームページ、より視聴いただくことができます（第 96 回「泌尿器がん」は 9 月に配信予定）。

当センターの診療科における専門の医師が、それぞれのがんの特性や、診療・治療に関する内容を詳しく解説、またそれらの医療に対する連携などの取り組みについて紹介されています。質疑応答の時間もあり、医師による活発な議論も行われるなど、充実した内容となっていますので、ぜひご覧ください。

成人病公開講座のページ、 <https://oici.jp/hospital/movie/?moviecat=koukaikouza>

6 ページ、下段、

スキンケア教室を開催しています！

SPRASH 委員会（スプラッシュ：がん薬物療法における皮膚症状対策チーム）は、すうかげつに一度、患者さん向けのスキンケア教室を開催しています。医師・薬剤師・看護師で構成されており、毎回内容を変えながら実演を交えた講義をおこなっています。

5 月 13 日に 2022 年度第 1 回目のスキンケア教室を開催しました。この教室では、がん薬物療法に伴う皮膚の乾燥予防や、ひしん・そういえんなどのケアの方法をお伝えしています。日常的な保湿や、ステロイドがいようざいの使用方法についても触れています。また、その場で医師や看護師が質問にもお答えしますので、不安や疑問の解消にもなっています。

正しい知識や対処を理解してもらうことは、患者さんのキューオーエルを良好に保ちながらがんの治療を長く続けることにつながります。また、がんの治療にはたしよくしゅによるサポートと患者さんへの教育も大事ですので、患者指導ができる看護師の育成に力を投入しております。これからもより多くの患者さんに参加いただけるよう活動していきたい

と思っております。

コロナ感染防止対策のため、現在は入院患者さんのみを対象にしています。感染状況が落ち着けば外来患者さんや外部のかたへのご案内を考えておりますのでぜひご参加ください。

2022 年度の開催決定日

2022 年しちがつじゅうごにち、じゅうがつじゅうよつか

2023 年さんがつじゅうななにち

7 ページ、上段、

「看護、五感から伝わるぬくもり」をスローガンとして看護の日のイベントを開催
看護の日委員会：うえやま みか、 たなか とよこ、浜口じゅんこ、 まつおか りえ

今年は入院患者さん限定ではありますが、関西フィルハーモニー管弦楽団のご協力のもとクラシック音楽会とコラボをし、ごがつじゅうににちの看護の日に集合型イベントを開催しました。

活動内容としては、メッセージカード、しおり、センター内に掲示するポスター作成と音楽演奏時にスクリーンに映し出す映像制作です。35 歳の担当者が 3 グループに分かれて試行錯誤しながら準備に当たりました。メッセージカード、しおり、ポスターは写真にあるような手作り感満載のあたたかみがあり、映像に関しては担当者が看護の日を意識した写真を撮影し、プロも顔負けの映像に仕上がりました。当日ははかせたろうさんの「エトピリカ」「ひまわり」のアンコール曲をバックに心あたたまる映像が流れ、会場の患者さんの中には涙を流され「勇気ができました」、「頑張ります」といったお言葉も頂き、スローガンにあるように「看護、五感から伝わるぬくもり」を伝えることができました。

この活動が看護の心や助け合いの心をはぐくむきっかけとなれば幸いです。

7 ページ、下段、

【連載】はい、こちら「がん相談支援センター」です
がん相談支援センター長 いけやま はると

【ファイル7】仕事とがん治療

がん患者さんの約 3 にんにひとりには 20 代から 60 代でがんに罹患し（平成 29 年 全国がん登録罹患数・率報告 令和 2 ねんしがつにじゅうよっか発行 厚生労働省健康局がん・しっぺい対策課）仕事を持ちながら治療をされているかたは多いです。がんと診断を受けて仕事を辞めるかたも多く、現在、国を挙げてがんの診断時から治療と仕事の両立について相談できる体制づくりに取り組んでいます。

がん相談支援センターでは 現在の仕事とがん治療を両立する上での悩みや、新たに仕事を探したいというご相談にも、主治医や看護師と連携して支援させていただきますので、気になることがあれば、ぜひご相談ください。

また、当センターのセルフケアフェアではつきに一度、大阪産業保健総合支援センターの相談ブースを設けて、復職や休みかたを気軽に相談できる場や、月に 2 度、ハローワーク大阪東から出張相談に来ていただき、仕事探しのお手伝いの場も設けています。

仕事は収入のことや生きがいなど、人生でとても大切な役割をもっています。がん治療も大切、そして仕事も大切。ひとりで悩まずに、ぜひご相談ください。

面談（対面での相談）

病院1階6番窓口 相談支援センター受付でお申し出ください

相談受付時間 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前くじから午後ごじ

がん相談ホットライン 06-6945-1870 直通

電話対応時間 、月曜日から金曜日、 祝日・年末年始を除く、 午前10じから午後4じ

8 ページ、

ご寄付について

きふしゃごほうめい 2022 ねんしがつついたちから 6 がつはつか 受領日順／ご希望者の
み掲載

きまた よしひこ様、よねだ たかひろ様、きただ ひろゆき様、たにぐち けいこ様、に
しやま とおる様、にしやま けいぶん様、よこやま まさる様、り よしあき様、みずも
り きんぞう様、なかじま かつみ様、たにぐち ゆたか様、にいや ひろき様、なかにし
ともこ様、みつこし不動産株式会社 取締役会長 しんみ あおい様、一般財団法人 大阪
から肺がんをなくす会 代表理事 かわせ いちろう様
ほか とくめいしゃ 8 めい

このたびもさまざまな個人や法人の方々から、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。

この温かいお心遣いに感謝するとともに、このご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い医療とサービスを提供してまいります。

お申し込み方法など詳細はホームページ、をご覧ください。

<https://oici.jp/center/effort/donation/>

奥付

オーアイシーアイだより 2022 年夏号〈季刊〉

特定機能病院／地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局 総務・広報グループ

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL 06-6945-1181 (代表)

2022 年 7 月発行

◆電車でご来院の場合

大阪メトロ「たにまち四丁目駅」北改札口から徒歩約 5 分／京阪電車「天満橋駅」東改札口
から徒歩約 10 分

◆お車でご来院の場合

東大阪線「ほうえんざか出口」より約 5 分／東大阪線「もりのみや出口」より約 8 分

【提携駐車場】

- ① エコロパーク大阪府庁駐車場
- ② 谷町筋地下駐車場（入り口は北向き 1 カ所のみ）

補助犬も同伴いただけます

ホームページ、 <https://oici.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/OICI.jp>